

## 令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 開催日時 : 令和5年12月6日(水) 14:00~15:30

2 開催場所 : 池田高等学校 校長室

### 3 運営協議会メンバー

運営協議会委員(委嘱委員) 3名

事務局員(校内出席者) 4名

### 4 内容

(1) 令和5年度学校経営計画の進捗状況について

(2) 学校教育自己診断について

(3) 採択教科用図書について

(4) その他

### 5 協議事項

(1) 令和5年度学校経営計画の進捗状況について

**校長**より、配付資料に基づき進捗説明

- 1) ICT活用 - 教員用端末を追加購入、プロジェクター・黒板を今年度中に更新予定。
- 2) 授業改善 - 授業アンケート(7月実施)では、「主体的で対話的な学び」に関する項目の数値が3.31(昨年比0.06p増)となり過去最高値を更新した。
- 3) 進路指導 - 総合的な探究の時間(2年生)では大阪大学と連携した取組みを実施した。来年度に向けて、「校内予備校企画」を検討中。
- 4) 人権教育 - 令和7年度入学生から「性差を感じさせない標準服」の準備中。
- 5) 学校行事 - 体育祭・文化祭はコロナ禍前の規模で開催できた。
- 6) 国際理解 - 豪州語学研修を4年ぶりに再開、定員40名を超える応募、抽選による選抜を実施した。
- 7) 施設改修 - 体育館の排水設備改修・空調設備設置を実施、床改修を来年度に実施予定。今年度募集した「大阪教育ゆめ基金」では132万円の応募があり、来年度にグラウンド照明を3基設置の予定。
- 8) 働き方改革 - 教職員の超過勤務時間数は昨年比で減少傾向。
- 9) 情報発信 - 中学生向けの学校情報ホームページを外部委託し製作、パンフレット・ポスターを改訂し府内北部の中学校に送付した。学校公開・説明会等のイベントは今年度延べ1953名が参加した。

以下、質疑応答。

**委員**高等学校授業料無償化について懸念していることはあるのか。

**学校**学費の差が小さくなる一方で、施設面や部活動指導者数等の環境は私立が優位であり、私立に志願者を奪われることを懸念している。ただ、11月末時点での志願動向調査では、本校への大きな影響はまだ見られない。

**委員**私立高校は学校ごとに特徴を出し、きめ細かいニーズに応じた教育を提供しているように感じる。府立高校も各校レベルでできることを分析して対応していくしかないのではないかと。

**学校**教職員の働き方改革も進めながら、効率的に対応していきたい。

**委員**グラウンドに設置する照明器具に関して、近隣住宅への影響はあるのか。

**学校**投光角度を配慮するとともに、使用時間も18時30分までとしている。

**委員**広報活動の効果検証はどのようにおこなっているのか。

**学校**毎年、入学者対象のアンケートを実施している。インテックス大阪での進学フェア(7月)に参加している本校入学生は2%程度の人数であり少ない。

**委員**費用面について、公立と私立での大きな違いは授業料以外の諸費に関する部分。金額的に手頃な標準服は公立のメリットになるのではないかと。

**学校**入学初年度では制服代などを含むと40万円程度の差があると見ている。

(2) 学校教育自己診断について

**校長**より、配付資料に基づき質問項目案を説明。

(3) 採択教科用図書について

**校長**より、採択図書の説明後、**委員**による確認。

(4) その他

**委員**校内照明のLED化を進めないのか。コストパフォーマンスで優れていると思う。

**学校**更新の機会に導入の検討をしたい。

**委員**大学のような「競争的獲得資金」の制度は府立高校にあるのか。

**学校**更新毎年4月に募集があり、大阪府教育振興計画に沿った事業で教育委員会による審査に通る必要がある。前年度中の周到的な準備が求められる。

**委員**自転車通学生徒へのヘルメット着用指導はどのような状況であるか。

**学校**更法律上、着用は努力義務であり、自転車通学生徒向けのオリエンテーション等の機会での注意喚起にとどめている。現状、着用している生徒はゼロではないがごく少数。

以上